

ふれあいかんだより

5

かわさきし
川崎市ふれあい館

かん

かわさきかわさきさくらもと
〒210-0833 川崎市川崎区桜本1-5-6 TEL : 044-276-4800
http://www.seiky-sha.com e-mail : fureaikan@seiky-sha.com

2021.5.1
No.385

くしやうかいけつせきしんしや
苦情解決責任者 菅 江以字
あづまき 健
鈴木 健

かわさきしよかん
川崎市所管
みらいきよせいしやうねんしえんしつ
こども未来局青少年支援室 (Tel.044-200-3083)

入学サポートのフォローアップを行いました。



4月5日(月)と6日(火)の2日間、2月に行った”入学サポート”のフォローアップとして入学・進級のための書類記入のサポートを行いました。4月最初の登校日には、子どもたちが学校から多くの書類を持って帰ってきます。緊急連絡先や健康調査票・銀行口座の手続きの書類など、保護者の方が内容を把握するだけでも一苦勞です。なかには、多言語版の資料を配布してくれる学校もあり、一緒に内容を確認しながら記入のお手伝いをする事ができました。今後もお子さんや学校のことなど、不安なこと・分からないことがあれば、いつでも気軽に寄って頂けるような場所づくりを心掛けていきたいと思ひます。

多文化交流学級part3、part4を開催しました。



2021年3月24日、25日に多文化交流学級が行われました。24日は「ルーツを伝え続けた20年」と題し、長年ふれあい館の実践(学校訪問)に携わって頂いた韓国・朝鮮ルーツの金頭貞さん、金恵珍さん、金允敬さんの3名の講師にお話しして頂きました。ことばの壁、子育ての悩み、地域での居場所づくりに加え、ふれあい館での実践に参加する中で感じた韓国・朝鮮への想いや日本社会への想いをお話し頂きました。25日は「差別のない人権尊重のまちづくり条例～教育の見地から学ぶ～」と題して川崎市教育委員会の大野恵美さんを講師にお迎えし、市内数校で行われた研究授業の様子を例に、川崎市が設けた条例を教育の現場でどのように子どもたちに伝えていくのかについてお話し頂きました。参加して下さった近隣の町会長が講演を聞いての想いを語って下さいました。

ウリマダンで春を感じました。



3月24日に在日高齢者の識字活動「ウリマダン」でお花見をしました。前日には咲いている桜は数えるほどでしたが、当日に一気に開花したようで暖かい陽の下でお花見を楽しみました。昨年はコロナウイルスとの向き合い方が分からず中止となり悶々としていたことを思い出しながら「久しぶりの春」を感じる事ができました。朝鮮半島に伝わる打楽器「チャンゴ」の音とともに持っていた杖を投げ捨て立ち上がり、オッケチュム(肩でリズムをとる踊り)を始める参加者もあり他の参加者からは笑顔の花が咲きました。

ふれあい館 5月の予定

こども部門

子育て支援、児童の放課後生活の援助、こどもの学習と文化活動の支援

●こそだて支援・・・乳幼児とおとなのためのプログラム 〈定例のプログラム〉

小麦粉粘土あそび	10日 (月)	10:00～11:00	色つきの小麦粉粘土で遊べます。アレルギーの方はご注意ください。
ぴよぴよタイム	11日 (木)	10:30～11:00	身長・体重を測れます。大きくなったかな？
木のおもちゃ	18日 (火)	10:00～11:30	やさしい木のおもちゃの日。香りやぬくもりを楽しんで。
いっしょにつくろう	20日 (木)	10:30～11:00	「あじさい」の工作をします。予約はいりません。

レジン工作

13日 (木) 10:00～11:00

保護者の方向けの工作です。キーホルダーが作れます。
(1個100円)

ホールで遊ぼう

24日 (月) 10:00～

2階のホールで自由に遊べます。体を動かして遊ぼう♪

シャボン玉あそび

26日 (火) 10:00～11:00

シャボン玉で遊ぼう♪

ろばを利用されるみなさんへ

- ケガや事故防止のため、お子さんの見守りをお願いします
- 感染症予防のため、口に入れてしまったおもちゃは「青いかご」に入れてください。
- 手洗いと消毒にご協力ください。 ●使ったおもちゃは、元のばしょにもどそう。

キッズスペースろばではママたちの活動中の保育支援をしています。

くわしくはキッズスペースろばまで

●小中学生プログラム・・・他にプログラムがあるよ♪ くわしくはたより (あそぼ) をみてね

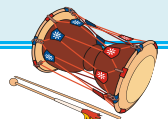
アイロンビーズ	19日 (水)	2時30分～	色んな形を作ってアイロンでくっつけよう！
---------	---------	--------	----------------------

ふれあい館の小中学生プログラムは、みんなの意見をもらいながら、毎日のプログラムをたてています。館に毎月のたより (あそぼ) があります。

舞踊クラブ	毎週 火曜日	4時～5時30分	韓国・朝鮮の踊りを習います
ハロハロクラブ	毎週 水曜日	3時～5時	学校の宿題や、色々な国の遊びや文化を学びます。
子どもチャンゴ	毎週 金曜日	4時～5時30分	韓国・朝鮮の打楽器を習います

●中高生の活動

中学生学習	毎週 火・水・木曜	7時～9時	主に新渡日外国人の中学生 (水曜日・土曜日)、および経済的に困難で学習塾に行けない中学生 (火曜日・木曜日) の基礎学力保障のための学習会
サポート	毎週土曜	1時～3時	



せいじんぶもん
成人部門

かわさきし かん かわさきしきょういくぶんかいかん しきじ にほんご けんしゅう
川崎市ふれあい館・川崎市教育文化会館 識字・日本語ボランティア研修

がいこくじんしゅみん まな にほんご にゅうもんけんしゅう
外国人市民と「ともに」学ぼう 日本語ボランティア入門研修

がいこくじんしゅみん にほんじん ちいき ぐく たいけんがくしゅう まじ ちいき
外国人市民と日本人が地域のなかで「ともに」暮らしていくために体験学習を交えながら、地域のなか
で自分にできることは何かを考える講座です。

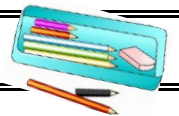
にちじ 日時	ないよう 内容	こうし 講師
①5月13日(木) 18:30~20:30	識字・日本語ボランティアってどうい うもの？	やまだいずみ 山田泉さん ほうせいだいがく 法政大学キャリアデザイン学部元教授
②5月20日(木) 18:30~20:30	かわさきし がいこくじんしゅみん げんじょう 川崎市における外国人市民の現状を しろう！	はらちよこ 原千代子さん しゃかいふくしほうじんせいきゅうしりむきよくじちょう 社会福祉法人青丘社事務局次長 (たぶんかすいしんじぎょうたんどう 多文化推進事業担当)
③5月27日(木) 10:00~12:00	いげんご がくしゅう たいけん 異言語の学習を体験してみよう！	がいこくじんしゅみん かた しよくいん 外国人市民の方・職員
④6月3日(木) 10:00~12:00	がいこくじんしゅみん はなし き 外国人市民の話を聞いてみよう！	がいこくじんしゅみん かた しよくいん 外国人市民の方・職員
⑤6月10日(木) 18:30~20:30	ボランティアとは何か	まきおかひでお 牧岡英夫さん きょういく (共育ひろば)

- 会場:川崎市教育文化会館 ●受講料:無料 ●定員:10名
- 対象:川崎市在住、在勤、在学で日本語による外国人市民と交流・相互学習や生活支援に関心のある方
- 申し込み:4月15日~ 教育文化開館にお電話をお願いします。044-233-6361 (川崎市教育文化開館)

※社会状況によって延期や日時の変更・中止となる場合があります。

しきじがっきゅう せいかつ ひつよう にほんご まな
●識字学級・・・生活に必要な日本語を学びます

ようび 曜日	まいしゅう かようび きんようび 毎週 火曜日・金曜日	さんかひ おりよう きょうざいひ じっぴ 参加費 無料 (教材費は実費)
じかん 時間	10:00~11:30	



こうれいしゃぶもん
高齢者部門

ざいにちこうれいしゃ せだい みんぞく むす こうりゅうじぎょう こうれいしゃ せいかつそうだん
在日高齢者と世代・民族を結ぶ交流事業や高齢者の生活相談

ざいにちこうれいしゃこうりゅう かい
在日高齢者交流クラブ「トラヂの会」

げんざい かんせんかくだいよぼう かつどう やす
現在、感染拡大予防のために活動をお休みしています。

しんがた かんせんじょうきょう しゃかいじょうきょう み さいかい かつどう やす
新型コロナウイルスの感染状況や社会状況を見ながら再開できるまで活動をお休みします。

せいかつ ふあん そうだん すいじょう つ がつまつ しんがた せいしゅ
生活の不安や相談は随時受け付けています。4月末から新型コロナウイルスのワクチン摂取の
お手紙が届く予定です。何かありましたら044-276-4800までお電話ください。

社会福祉法人青丘社では、日本語が壁になって様々な行政サービスにつながりにくくなっている外国につながる方々の様々な手続きをお手伝いする活動を行っています！

● 色々な書類の申請のお手伝いをします！

就学援助など書いて学校に提出しないといけないものや役所から送られてきた書類が言葉がわからなくて知らなかった人、申請のしかたがわからない人のお手伝いをします。

ふれあい館に電話をしてください。

連絡先：ふれあい館 電話044-276-4800



▲「みんなにやさしく」

今年に入ってから娘と毎日一度は確認するようにしていることば

である。コロナウィルスが世界中に大きな影響を及ぼし、日本国内では緊急事態宣言が出され、今までの生活のありかたを具体的に変えなければいけない状況になった。世の中が変わった。感染症対策という意味では良い意味で作用しているが、経験したことのない多くの人間にとっては未知の領域である。不安、閉塞感、見えないウィルスの恐怖、見通しの立たない経済などが一気に押し寄せ、心身に影響している。▲我が家も明らかに夫婦の間でイライラとした感情のぶつけ合いが増えている。そうした我々の間に立つことになる娘も今までは「違う」ものを感じている様に見えるし、イライラすることが増えている。もちろん3歳という年齢から考えると本人の主張がうまく周囲に伝えられず、少し攻撃的に見える態度をとっていることも十分考えられるし、そういった兆候も実際に見えるが、そうしたものは明

らかに違うストレスを感じている様子が見て取れる。▲「みんなにやさしく」は私自身の自戒の念を込めて考えたことばである。業務連絡、指摘、感情、それぞれを誰にどんな時に伝えるかで適切な方法がある。しかし、時にストレスや不満といった個人的な事情で必要以上に攻撃的な態度で接してしまう瞬間がある。また、ある時、娘に何かを注意していると、娘から「私にも優しくして」と言われたことがあった。伝えるという行為がいつの間にか自分の怒りをぶつけることにすり替わっていた。こうしたことを繰り返すことのないように自分なりに考えて出したのが、「みんなにやさしく」である。また、娘本人にわかりやすいことばで感情をコントロールしながら周囲に自分を伝えて欲しいということを伝えたくてこのことばにいきついた。最近このことばには自分自身も含まれるという話を娘としている。▲コロナ禍による悪影響は誰にでも起きている。そんな今だからこそ共に生きる「みんなにやさしく」できるか、自分にやさしくできるかを改めて意識したい。(ぴ)